

《NPO法人 足もと健康サポートねっと》とは？

全てのの人に、苦痛と故障なく歩く喜びを知っていただくため、糖尿病患者をはじめ、足に悩みを持った方に対する支援事業や医療機関やその他の足に関する事業者の連携等の支援事業を行い、足に悩みを持った方へ適切な処置を行う。また足に関するより健全な医療や関連業界の進展を図り、より快適で健全な社会の創造、経済の振興に寄与することを目的とする団体。九州圏内の医療関係者(医師・義肢装具士・看護師・理学療法士など)と靴・インソール製造や販売を含めた靴業界、フットケアサロン業界などの連携を図ることで足(脚)に悩みを持った方々の問題解決を速やかに行えるようサポートする事を目的とした団体です。

《理事紹介》

理事長: 竹内 一馬

医療法人たけうち 六本松 足と心臓血管クリニック 院長
福岡大学 臨床教授

副理事長: 有蘭 泰弘 (有蘭製靴株式会社 代表取締役社長)

倉富 英史 (有蘭会社クラトミ 代表取締役社長)

理事: 安西 慶三 (医療法人社団 高邦会 高木病院 糖尿病内分泌疾患センター長
高邦会教育研修部長)

竹之下 博正 (内科・糖尿病内科 たけのしたクリニック 院長)

松田 拓朗 (福岡大学病院 リハビリテーション部)

《社員・技術協力員》

井上 順子 (内科・糖尿病内科 たけのしたクリニック)

内田 重人 (アンプロデュース株式会社 代表取締役)

坂 さとみ (医療法人心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科)

石橋 理津子 (佐賀大学医学部 形成外科 技術補佐員・
足病 Ns Ishibashi メディカル office 代表)

徳永 みどり (FHA上級・シニア専門・幼児子供専門シューフィッター)

中島 さとみ (フット専門店 a Sea 代表)

吉田 のぞみ (日本赤十字社 唐津赤十字病院)

岡橋 信浩 (足病予防研究所 代表)



《NPO法人 足もと健康サポートねっと》主な活動履歴



これまでの活動してきた内容に関して、QRコードにアクセスし頂けると、
当NPOのホームページの「活動履歴」へジャンプします。

2009年～2014年



2015年～2019年



2020年～最新



《NPO法人 足もと健康サポートねっと》今後の活動予定

■ 2025年2月9日(日): 第6回日本下肢・足病医学会 九州沖縄・地方学術集会 市民公開講座

■ 日時未定: 親子かけっこ教室、靴下勉強会、六本松健康ウォーク、
福岡マラソン2025 関連イベント などでの活動も予定しております！

- 市民セミナーや相談会の開催
- 定期的な勉強会・報告会の開催
- ウォーキングイベントの開催

- フットウェア・フットケアの啓発活動
- フットウェアの開発や研究
- 足に関する学術活動の推進

- 足に障害があっても快適に過ごせる環境を整備する
- 「寝たきり老人を作らない」運動の提案

編集
後記

新型コロナウイルス騒動の経験から新たな活動方法が開拓できた。新しい
手法の活動もあと数年で定着しつつある。これからも定着の活動に加え、
NPOとして新しい挑戦も続けていきたい！ (編集長: 松田拓朗)

賛助会員・サポーター募集中!!

詳しくは、TEL 092-401-5755 (アンプロデュース株式会社) までお問い合わせ下さい。

FOOT LIFE GOOD LIFE

— 足もと健康サポートねっと通信 —

Vol.10



NPO法人 足もと健康サポートねっと <http://ashimotokenko.com>



「靴下勉強会」by NPO法人 足もと健康サポートねっと

開催 2024年6月12日(水) 会場 六本松足と心臓血管クリニック



▲ 参加者の皆様と



▲ 講演の様子

2024年6月12日(水)に当NPO法人のスピノフ企画として「靴下勉強会」を六本松足と心臓血管クリニックにて開催させていただきました。今回「靴下」というアイテムにフォーカスしての勉強会開催は、当NPO法人初。参加者は、理学療法士、看護師、リンパセラピスト、ネイリスト、患者さんなど多種多様な方々。しかも県外からご参加された方もいらっしゃいました。初の試みで不安でしたが、勉強会にご参加頂いた皆様からは大変好評を頂くことができ、満足度も高く、質疑応答も盛り上がりしました。

今回、ItouXさん、コーポレーションパールスターさん、九州メディカルさんの三社のご協力のもと靴下勉強会を開催することができました。各社の「靴下」に対する情熱が強く伝わり、とても有意義な勉強会となりました。

意外と知らない奥深い靴下の世界。靴下の力、そして靴下の魅力をしっかり学ぶことができました。今回一緒にできた参加者さんとのご縁にも心から感謝です。次も別のスピノフ企画を考えていますので是非ご期待ください!



六本松健康ウォーク VOL.3

開催 2024年10月27日(日) 会場 MJR六本松前

昨年に引き続き今年も2024年10月27日(日曜日)に第3回の六本松健康ウォークが開催され、我々 NPOメンバーや六本松足と心臓血管クリニックのスタッフもボランティアで「足の相談コーナー」のお手伝いをさせていただきました。このような形で地域活動に協力できて大変嬉しく思っています。六本松商店連合会会長の橋田会長をはじめとして六本松421スタッフ、などとご一緒に運営メンバーに加えていただき準備を進めてまいりました。今年も大盛況で500名を超える参加者で大変驚きました!

「足もとの健康は、全身の健康維持の基本」このようなウォーキング大会が無くて何かをきっかけに、日々の生活にウォーキングやランニングを習慣化して欲しいと切に願います。今年も「足から全身の健康を守ること」に微力ながらお役にたてて良かったです。



▲ スタッフみんなで



▲ 天候に恵まれ多くの市民が参加されました



第45回ふくおか市民糖尿病教室

開催 2024年11月17日(日) 会場 TKPガーデンシティ PREMIUM天神スカイホール



▲ フットプリントの様子

ふくおか市民糖尿病教室にて当NPO法人はボランティアで「フットケア 足の相談ブース」と「フットプリント体験」をお手伝いさせていただきました。参加人数もかなり多く、フットプリント計測コーナーも大変盛り上がり、たくさんの方にご自身の足の状態を知っていただくいい機会になりました。

★福岡マラソン2024 関連イベント★

今年も福岡マラソン2024大会とその関連イベントが無事に終了しました。「怪我なく、元気に、笑顔でゴール!」のお手伝いが当NPO法人として果たせたのではないかと思います。当NPO法人が福岡マラソン2024に関わった関連イベントは次のような企画でした。

1 福岡マラソン ランニングクリニック 第1弾

2024年8月4日(日)に福岡市美術館(ミュージアムホール)にて、マラソン初挑戦や初心者を対象に「ランニングの基礎知識や楽しく走るコツ」をテーマにしたイベントを企画。テーマの設定や講師招聘などをさせて頂き、7名の講師の方々にご登壇頂きました。



▲ 講師を務めた7名で
(@福岡市美術館)

2 福岡マラソン完走教室 福岡市中央体育館

マラソン初挑戦や初心者を対象に福岡市中央体育館にて全4回、ランニングシューズの選び方・履き方、走り方の基本、トレーニング方法など、実技を中心とした内容で教室講師を務めさせて頂きました。本教室に参加され、福岡マラソン2024に出走された皆様全員、無事完走することができました!



▲ マラソン教室の様子
(@中央体育館)

▼ バスガイド? ツアーガイド?



3 大会前日 出走権付き宿泊パック by JTBBの大会コース下見ツアー

大会前日の午後に「大会コース下見ツアー」のツアーガイドとしてバスに添乗し、コース上の注意点やポイント解説、「怪我なく、元気に、笑顔でゴールする」為に必要な事などについて、ツアー参加者の皆様に情報提供させて頂きました。当NPO法人としてツアーガイドを務めさせて頂いたのは初の試みでしたが、ツアーに参加された皆様からお褒めの言葉を頂くことができ、とても良い経験となりました。

▼ 走る竹内理事長(白シャツ)



4 メディカルサポートランナー

昨年までは「医療救護ランナー」という名称でしたが、今回から名称が「メディカルサポートランナー」に変更となりました。今回からメディカルサポートランナーも一般参加者と同様に、参加費を全額自己負担し、完全ボランティアという参加形態で福岡マラソン2024を走るランナーの皆様の体調急変時の対応にあたらせて頂きました。

今年も様々な形で「市民として」、「メディカルスタッフとして」、「市民ランナーとして」福岡マラソン2024に携わることができました。大会事務局、関係者、多くのボランティアの皆様、そしてランナーの皆様とご家族・ご友人、警察関係者などなどの皆様に心から感謝いたします。「福岡市民」として自慢できる大会になれるよう切に願っています。

La TAKE (ラ テイク)



HPへのアクセスはこちらから ▶

所在地 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜4丁目1-1 101 HP <https://latake.my.canva.site>



竹之下 理事が新時代の筋トレ施設を2024年6月にオープン!

「膝、腰、肩が痛い」「歩くのが遅くなった」など、診療中こうした相談をよく耳にします。運動を勧めたいが、具体的に何を提案すればよいのか悩むことがありました。そんな中、私は「鍛錬」というトレーニングマシンと出会いました。これでトレーニングをする心地よく、体が驚くほど楽になりました。このマシンは、どなたにも自信を持って勧められます。「La: 楽に、TA: 楽しく、KE: 健康に」という意味を込めたトレーニング施設「La TAKE」で皆様の健康をサポートさせて頂きます!

La TAKEでは日常動作を改善するために設計された「鍛錬」という従来の筋力トレーニングマシンとは異なる特殊な機器を導入しており、関節に負担をかけずに身体を整えることができます。

*「鍛錬」は特許技術により設計された最新のトレーニングマシンです。



La TAKE 店長
須崎 SUZAKI
シューフィッター / 幼児子供シューフィッター

ご利用
お待ちして
います!



▲ 多数のトレーニング器具(鍛錬)

『吉田 恵』と『足もと健康サポートねっと』 Episode 2

人生を変えた新しい義足

義肢装具士:「立てます?歩けます?痛いところはありませんか?どこが痛いですか?」

医師:「義足の具合はどう?義足の痛みは無くなった?」

吉 田:「足は痛みます…。いつも傷から出血しています…。」

合わない義足と出血が続く足の傷。「義足が痛い…でも、どうすればいいのかわからない。」初めての義足は歩くどころか、立っていることさえ出来ないくらいに足が痛む義足(あし)だった。近所のバス停まで歩くことさえ出来ない状態。さらに、その義足は自分の身体の一部として受け入れ難い外観なのである。そんな状態で、障害のある身体でできる仕事ややり方を悩み、自動車学校、香りの勉強、女性企業セミナー、資格取得など様々な分野で模索する日々だった。



▲ Meaganと(@豪州, 2000年)

まだ十分に歩けなかった頃の1999年に吉田はオーストラリアの友人宅へ2週間、訪問滞在した。その時、現地の義肢装具士から吉田の使う「義足が古めかしい。」と指摘され、自分は義足について何も知らなかったことを知った。帰国後、間もなくして「めぐみ、イギリスに素晴らしい義足があるよ!」とオーストラリアの友人(Meagan)から興奮した声の連絡を受けた。

2001年、自分の義足(あし)を求めて渡英。元職場の駐在員に助けられ1ヶ月滞在。そして、2002年に2回目の渡英。残存している足のスキンカラーに合わせてシリコンで皮膚を作成。体毛、爪、血管やホクロに至るまで、限りなく本物に近づけた義足が完成した。

これまでの「義足」とはまるで違う「私のあし(義足)」に吉田は巡り会えた。(つづく)

文: 松田拓朗(理事・編集長)

プロフィール 吉田 恵(よしだ めぐみ) 1967~2016年

婦人靴店 shoe closet PASSO& (シュークローゼット パッサン)代表。NPO法人足もと健康サポートねっと 理事。当NPOの前身「足ネットワークプロジェクト(通称:足ふえち会)」からのメンバー。NPO創立に尽力。会報誌「FOOT LIFE GOOD LIFE」の初代編集長も務め、2019年に当NPOから出版された書籍「生涯歩行のすすめ 今日からはじめるフットケア!」の好機をつくった。



▲ スキンカラーチェック(@英国, 2002年)

